



とらいあんぐる



2017年7・8月

一音会ミュージックスクール発行

「聴衆をつくる」

私の二人の子どもたちは、もう高校生です。

親と行動することが少なくなった今も、コンサートだけはいっしょに行きます。

特にキョウコとは、しょっちゅう、いろいろなコンサートに足を運んでいます。ユメキも案外、コンサートが好きです。

家族の楽しみの1つになっています。

今でこそ平和ですが、幼い頃はたいへんでした。

キョウコやユメキが幼い頃、コンサ

ートでおりこうにしていられなくて、曲の合間に横抱きにかかえて、小走りで退出したことが、何度もありました。

子どもたちの暴発にそなえる緊張と、周囲の皆さまへの申し訳なさで、私はいつもへトへトでした。

できるだけサッと退出できるよう、扉に一番近い席にしか、座れませんでした。それでもご迷惑をおかけしたこともありました。

その時の徒労感といったらありません。

そんな中、コンサートに足を運び続けたのは、ちゃんと聴くことができる人に育ててほしい、という一心からで

す。「いつか、ちゃんと聴ける人になってくれれば・・・」と。

でもそれだって、親の勝手といえはそれまでです。

「親の勝手で、よそ様に迷惑をかけるのは、どんなものか・・・」と思ひ悩み、母に相談したことがあります。

「出入りが他のお客様にご迷惑になるから、しばらくコンサートは自粛したい」と。

母も、私の子どもたちの行儀の悪さは、よく知っています。

なのに、母はいったのです。

「絶対、ダメ」と。

「迷惑をかけないよう、できるかぎりの努力はしなければいけない。そんなことは、あたりまえ。でも、迷惑をかけそうだからといって、コンサートに行かない、というのは違う」というのです。



理由は「小さなうちにこそ、生の音楽にふれ、コンサートのマナーを習得し、コンサートに足を運ぶ習慣を身につけなければならない」というものでした。

そういうだろうなあと思っていましたが、やっぱりでした。

ですが、母は私の予想外のことをいうことも忘れません。

「演奏家が食べていける社会を作るのよ！」

突然、選挙演説のような口調です。

話がつながりません。

「どういうこと？」とたずねかえしますと、母は「よくきいてくれました」とばかりに、話しはじめます。

「演奏家が食べていける社会って、どういう社会だと思う？」

私は、ぽかんとしていたと思います。

母は、はなから返事なんて求めていません。

「聴衆よ。本当に必要なのは、良い音楽を求める聴衆！」

私にも、なんとなく話のつながりが見えてきました。

母は、満足そうに私の顔を見て、います。

「小さい頃にクラシックコンサートに行く習慣があった子の何割かは、大人になった時に、自らコンサートに行く人になるでしょう？ そういう人たちが、演奏家を支えるの。聴衆こそが、演奏家を育てているのよ。いい？ 良い演奏家を育てるのは、良い聴衆なのよ。聴衆なくては、演奏家は成り立たないわ。一音会はね、演奏家と聴衆、両方を育てたいのよ」

私は、この時から、演奏家と聴衆の関係について、考えるようになりました。演奏家と聴衆は、最初から分かれているわけではない、ということにも気づきました。

音楽が好きな子は、自分が演奏するのが好きです。そして、他の人の演奏を聴くことも好きです。

音楽を奏でることと音楽を聴くことは、結局、2つで1つです。この2つはくっついているなあと、つくづく思うのです。

他の人の演奏を聴くことが好きな子

は、自分の演奏も上手になります。本当です。

おそらく、自分が演奏している時も、自分の演奏をよく聴いているのでしょう。自分の中に、良い聴衆を持っているようなものです。

他の人の演奏を聴くことが嫌いな子が、ピアノが上手になることは、残念ながらありません。

一音会の生徒さんには、良い演奏者になるとともに、良い聴衆になってほしいと思うのです。

聴衆になるおけいこは、普通のレッスンではまったくできていない部分です。発表会は貴重なチャンスになるでしょう。

私は毎年、発表会のプログラムの表紙の絵を描かせていただいています。

今年の主演として、私が描いたのは、客席でお友だちの演奏に拍手をおくる小さな男の子です。

立派な「お客さん」です。

今年、生徒さんには、演奏とともに「お客さん」に、たくさん挑戦していただきたいと思っています。

まずは、一人でも多くのお友だちの演奏を聴いてみてください。

好きな曲を見つけてください。

どんな演奏がすてきだと感じたか、考えてみてください。かならず自分の演奏の糧になります。

「お客さん」になってみた感想を、おうちの方はたくさんきいてあげてください。

そして、おりこうにお友だちの演奏を聴くことができたなら、たくさんほめてあげてください。

私の結論はこうです。

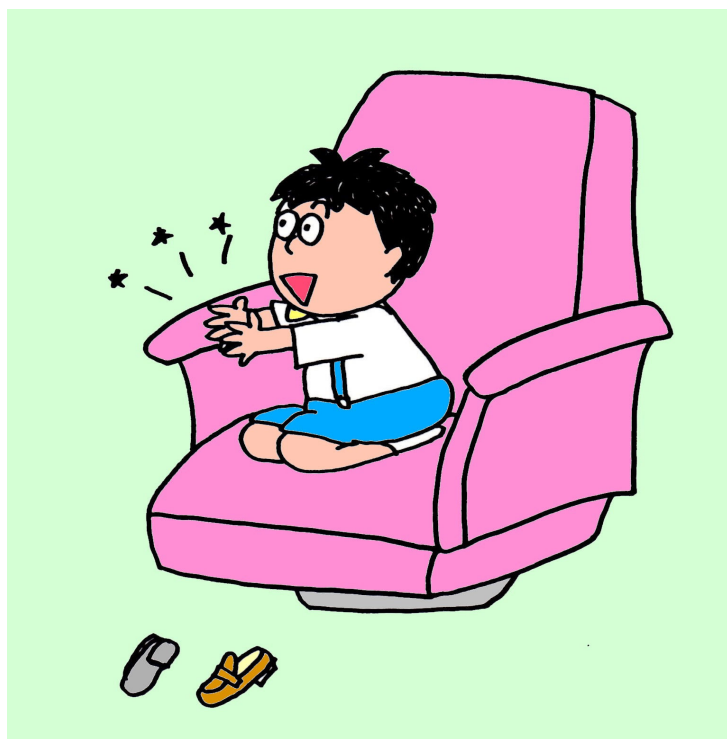
良い演奏者は、良い聴衆でもある。

良い聴衆こそが、演奏者を育て、豊かな音楽文化をつくる。

今年は、客席でお友だちの演奏を上手に聴くことができた生徒さんに、大きな拍手をおくりたいと思っています。

今年の発表会は、客席の「お客さん」に拍手をおくろうと、私は心に決めているのです。

(江口 彩子)



2017年 発表会プログラム表紙絵

◆もうすぐ「ピアノ発表会」です

ピアノ発表会は、下記の通りです。

8月4日（金）・5日（土）・6日（日）・7日（月）

成増アクトホール

東京都板橋区成増3-11-3

東武東上線「成増駅」下車2分

東京メトロ有楽町線/地下鉄成増駅下車6分

はやいもので、発表会まで、1か月を切りました。「リハーサル・トライ」も、すでにはじまっています。

少し、焦りの気持ちが芽生えている生徒さんもいらっしゃるかもしれませんね。よく分かります。私たち、スタッフも皆、同じ気持ちだからです。

でも、これまでがんばってきた歴史があります。また、これからの時間は、発表会に向けて大きく躍進する時となります。大丈夫です。

短い時間であっても、丁寧な練習を重ねれば、かならず上手になります。ゆっくり練習や部分練習を重ねましょう。

スタッフも、生徒さんが少しでもすてきな演奏ができますよう、最後まで全力で指導にあたらせていただきます。すべての生徒さんが、当日、悔いのない発表ができますようにと願っています。



先週より、「ピアノ発表会 しおり」と「ピアノ発表会 プログラム」をお配りしています。主担当の先生からお渡しするようにしていますので、まだお手元にない方は、主担当の先生にお声かけください。

「ピアノ発表会」では、すべての生徒さんにすてきな演奏をしていただくことが大きな目標ですが、それ以上に重要な目標として、事故やトラブルなく、無事に進行させるということがあります。

生徒さんが舞台上がるまで、また演奏を終えてご家族のもとに戻るまで、誘導には多くのスタッフを配しています。小学校3年生以下の生徒さんは、演奏後、ご家族の方にお迎えにきていただくことをお願いしています。事故を防ぐため、原則として、お一人でおかえしすることはありません。ご家族の方がお迎えにいらっしゃらない場合、いつまでも舞台袖でお待ちいただくことになってしまいますので、ご注意ください。4年生以上の生徒さんも、演奏後、どのようにご家族の方とおちあうか、約束しておくといいでしょう。

舞台裏や舞台そでは、たくさんのスタッフがいるのですが、案外、スタッフの目が届きにくいのが、客席です。スタッフも、客席を見まわるようにしていますが、やはりご家族の皆さまのご協力が不可欠です。会場で不審な人物を見かけた場合には、会場のスタッフにご連絡ください。

その他、当日、ご不安なこと、ご不明なことがありましたら、遠慮なくスタッフにおっしゃってください。一音会Tシャツを着ている者はすべて、ご対応できます。

◆体調管理をお願いします

連日、厳しい暑さの日々となっています。そのせいか、体調を崩してしまう生徒さんが、続出しています。今年は「プール熱」も流行っているようです。

発表会でもっとも残念なことは、ご出演予定だった生徒さんが、ご病気で出演がかなわなくなることです。どうか、発表会までの期間、普段以上に体調管理に気を配ってお過ごしください。おケガも、おそれることの1つです。おケガをなさらないよう、十分に注意して生活してください。

お一人も欠けることなく、すべての生徒さんが元気に舞台上がれることを祈っております。

◆「おんがくかい」が開かれます

加藤裕子先生が中心となり、一音会スタッフ有志が出演する「おんがくかい」が、今年も開催されます。小さなお子さまにも楽しんでいただける、楽しいコンサートです。

日時：2017年9月3日（日）

第1回 10:30 開場・11:00 開演

第2回 13:30 開場・14:00 開演

場所：ひびきホール（西武池袋線「東長崎」駅 南口より徒歩3分）

入場料：小学生 500円（未就学児 無料）

中学生～大人 1000円

出演スタッフ：加藤 詩菜・加藤 裕子・三浦 奈美子・平沖 絵里子・増田 椿

チケットをご希望の方は、上記の出演スタッフ、もしくは「ショパンはうす」受付にお申し込みください。

くわしくは、教室に置いてありますチラシをごらんください。



◆スケジュールを今一度、ご確認ください

「ピアノ発表会」が終わると同時に、教室は夏休みになります。一音会本部の夏休みは8月8日（月）～16日（水）です。その間は、お問い合わせにお応えできなくなりますことを、ご了承ください。

夏休みあけのレッスンは、8月18日（金）からです。お間違えのないよう、今一度、年間スケジュール表をご確認ください。皆さまにとって、楽しい夏休みになりますことを、心から願っています。

	日	月	火	水	木	金	土
7月							1 ▲
	2 /	3	4	5	6	7	8 ■
	9 ○	10	11	12	13	14	15▲
	16 ◎	17	18	19	20	21	22■
	23 ○	24	25	26	27	28	29▲
	30 /	31					
8月			1	2	3	4 発	5 発
	6 発	7 発	8 /	9 /	10 /	11 /	12 /
	13 /	14 /	15 /	16 /	17 /	18	19▲
	20 ◎	21	22	23	24	25	26■
	27 ○	28	29	30	31		
9月						1	2 ▲

*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp 電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。（今年度より、月曜日の夜に行なっております）

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。